

幼児クラス（3・4・5歳児）

活動人数 15名

活動日 令和7年9月8日

活動時間 10:00-10:45



テーマ

<テーマの設定理由>

保育の中でリトミックを取り組む中で音に対する表現や楽しさを感じ、子どもたち自身の発見や発信にも繋げていくため。

● どこで何をする？

<活動スケジュール>

● 本園 保育室

- ・身近に楽器の音を当てる。
- ・楽器に興味を持ち作りたい楽器を見つける

● 何が必要？

- ・<環境デザイン・俊美物・環境設定>
- ・カメラ（記録用）
- ・楽器
- ・廃材

実践記録

<活動内容>

- ・音を聞いて楽器を当ててみよう
- ・楽器に触れ、興味をもつ

【 2025年9月8日 溫度24度 濕度68% 】



楽器クイズをした。
以前も行ったことがあるため
子どもたちの前に用意されたハテナボックスをみて
「これ知ってる！」
「前にもやった」
「楽しみ」と興味津々ではじまりを待っていた。

保育者がハテナボックスの中で楽器を鳴らすと
真剣に音を聞いていた。

♪鈴、タンバリン、カスタネット、トライアングル
音が鳴るとすぐに「はい！」と手を挙げている児が
多く、皆で一緒に答えることができた。

♪アゴゴベル、オクタチャイム、オーシャンドラム、
ギロ、ナルコ、カバサ、ビブラスラップ
音が鳴ると

「あー、聞いたことがある」

「（手を動かして）こーやって使う楽器だよね」と形や名前を思い出そうとしていた。

♪オーシャンドラム

「何かの音に似てない？」と保育者が話すと
「海！」

「川の音！」と答える児がいた。

そこから“オーシャン”が出てくることは難しかったが
“ドラム”ははじめの文字“ド”的ヒントを出すと
子どもの中から「ドラム！」と答えを出すことができた。

♪ナルコ

「踊る時に使うよ」とはじめの文字が“ナ”という
ヒントを出すと

「ナルト！」と言っていた。

「惜しい、『ナル』までは合ってるよ」

「ナルトだ！」と正解を出すことができた。

♪ギロ

「こうやって鳴らすやつだよね」と楽器を鳴らす真似を
したり

「トウモロコシの形のやつだよね」と形は覚えている
ようであった。

ヒントではじめの文字を出し、

「次の文字が“らりるれろ”の中にあるよ」

「ギラ？」

「ギリ？」

「ギロだ！」と答えに辿り着くことができた。

♪ビブラスラップ

「ハンバーグのやつだ」

「これ知ってる！」

と楽器は知っている児が多かったが名前は難しく答える
ことが出来なかった。





出揃った楽器で最後に演奏をした

普段の活動では触ることがない楽器を持つことができ
「これがいい！」

「わたししも」「ぼくも」となる場面が見られた。
じゃんけんでどちらが使うか決めていた。

各自好きな楽器を選び楽器を鳴らしてみる姿が見られる。

音楽に合わせ楽しんで楽器を鳴らし、歌いながら楽しんで楽器を鳴らしいる姿も見られた。

「楽しかった」

「次は違う楽器やりたい」と楽器に興味を持つ姿が見られた。



演奏が終わったあとは皆が持ってきた廃材を利用して何を作りたいか話し合った。

「ギロ！」「ナルコ！」「回して鳴らすやつ（オクタチャイム）」と今日知った楽器や
「たいこ！」「ピアノ！」「カスタネット！」「ラッパ！」「ウッドブロック！」など
沢山の楽器が出てきた。



振り返り

＜振り返りによって得た保育者の気づき＞

- ・知っている楽器は音だけでも子どもたちはすぐにわかっていた。また、普段あまり触れることのない楽器は名前はわからないが形や使い方等は知っており、形や使い方をジェスチャーで伝えてくれる姿があった。1.2度だけ触れたことがある楽器でも特徴をしっかりと覚えていることがわかった。
- ・今回の楽器クイズを通して作ってみたい楽器がたくさんあがった。次は廃材を利用し、子ども達が興味を持ち作ってみたい楽器を製作してみたいと思う。